

## Ⅱ 調 査 結 果

## 《自転車の利活用、保険加入等について》

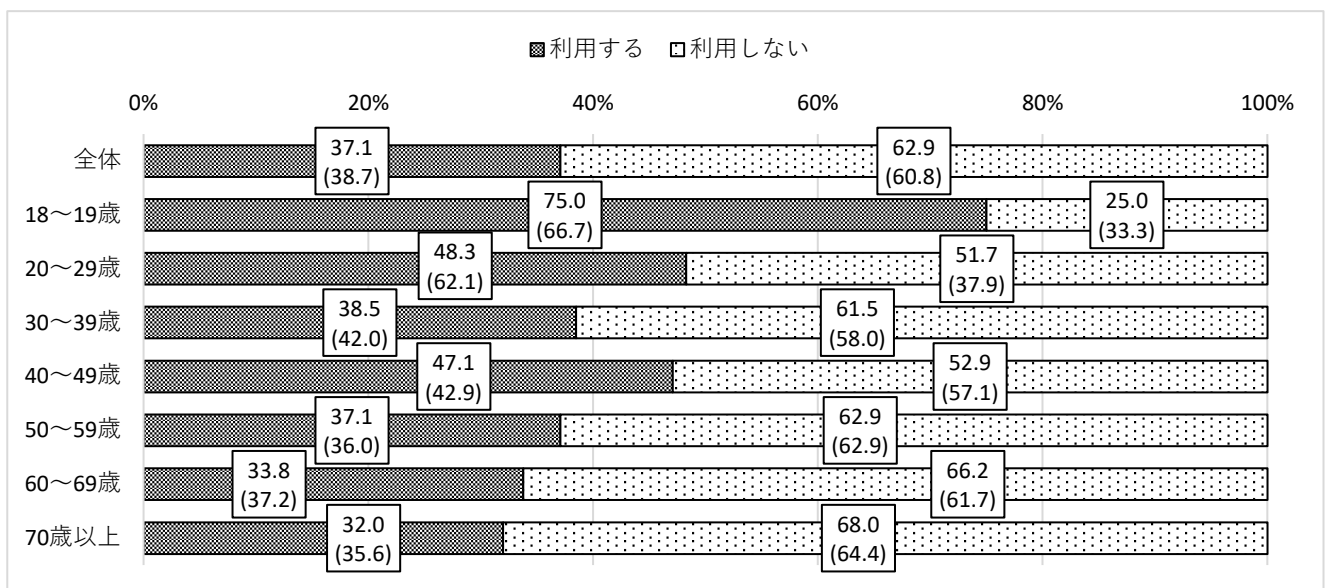
### ＜自転車の利用目的＞

利用目的は、「日常生活」が2割超

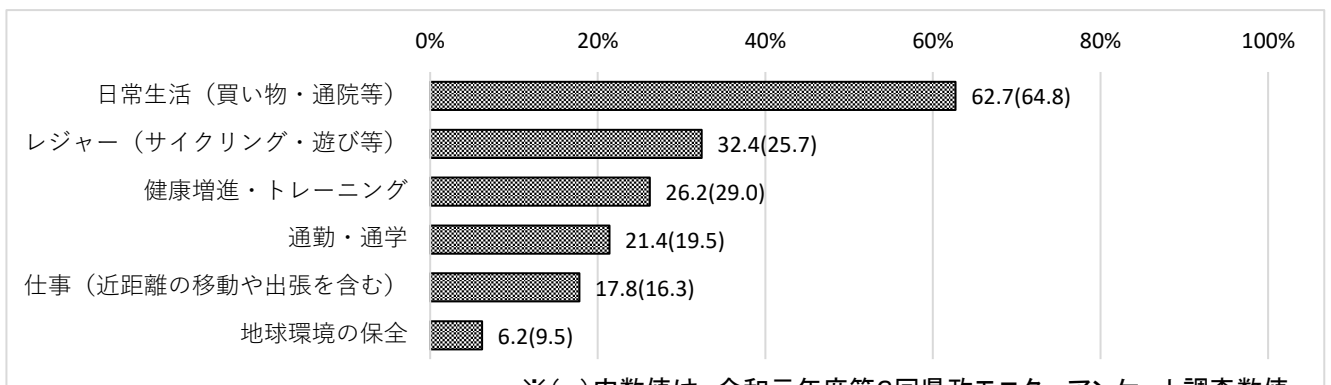
問1 どのような目的で自転車を利用しますか。(シェアサイクル、レンタルサイクルを含みます。)当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R2年度 n=996		R元年度 n=940		
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	
自転車を利用する	日常生活(買い物・通院等)	232	23.3	239	25.4
	レジャー(サイクリング・遊び等)	120	12.0	95	10.1
	健康増進・トレーニング	97	9.7	107	11.4
	通勤・通学	79	7.9	72	7.7
	仕事(近距離の移動や出張を含む)	66	6.6	60	6.4
	地球環境の保全(二酸化炭素等の温室効果ガスの削減)	23	2.3	35	3.7
自転車は利用しない	626	62.9	571	60.7	
無回答	0	0	5	0.5	

●自転車を利用する者は、10代を除く年代別では、20代が48.3%と最も高く、次に40代(47.1%)、30代(38.5%)となっている。



●自転車の利用目的は、「日常生活」が62.7%と最も高い。  
(「自転車は利用しない」と回答した者を除く370人が選択した割合)



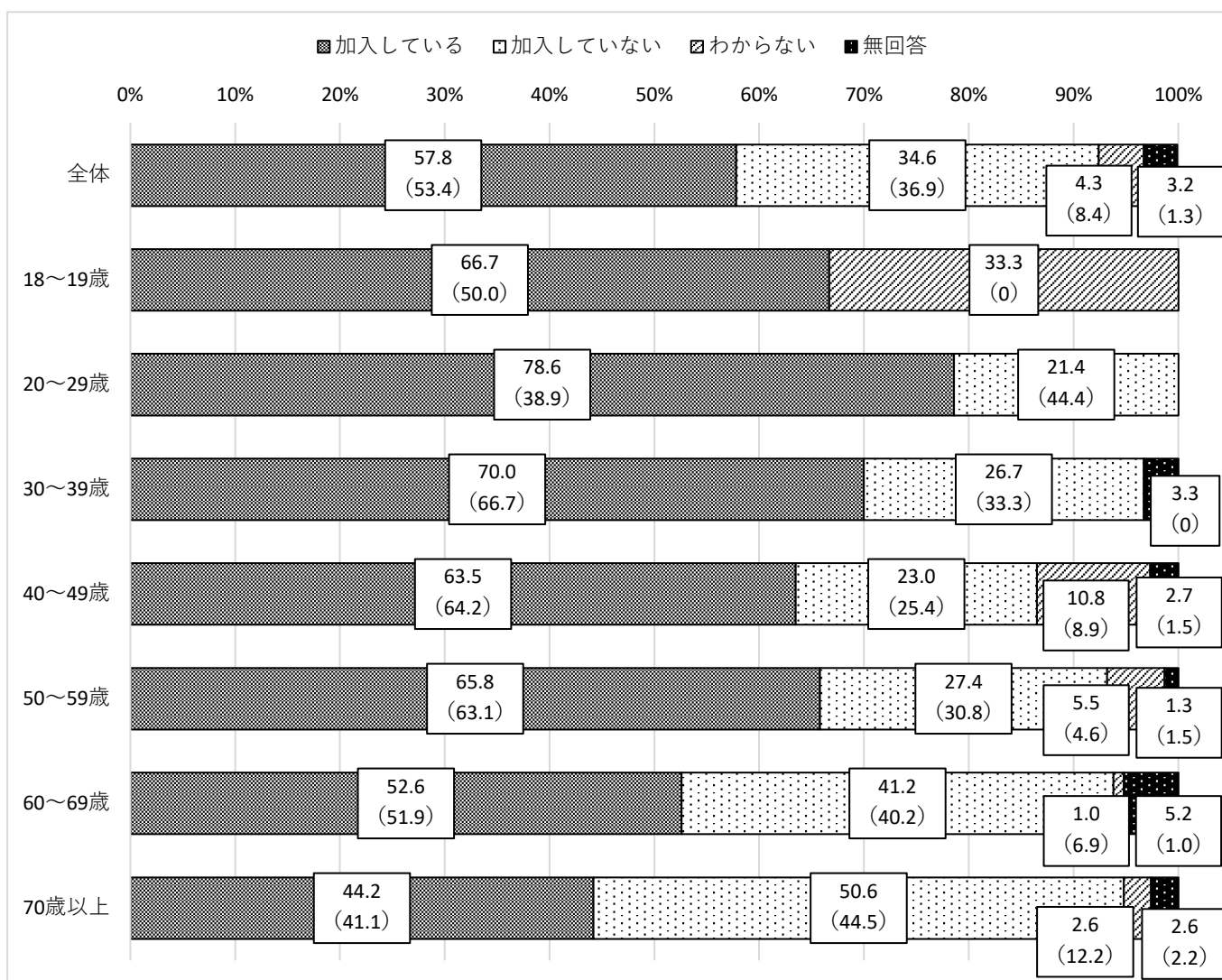
※( )内数値は、令和元年度第3回県政モニターアンケート調査数値

＜自転車損害賠償保険等への加入状況＞  
「はい(加入している)」が約6割

問2 問1で「自転車を利用する」を選ばれた方に伺います。  
万が一の自転車事故に備え、自転車損害賠償保険等に加入していますか。当てはまるものを選んでください。(自転車本体に掛けられる保険や、回答者本人が補償対象者となる保険(共済)契約等を含みます。)(○は1つ)

	R2年度 n=370		R元年度 n=369	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
はい	214	57.8	197	53.4
いいえ	128	34.6	136	36.9
わからない	16	4.3	31	8.4
無回答	12	3.2	5	1.4

●「はい(加入している)」が57.8%であり、年代別の加入率は、20代が78.6%で最も高く、次に30代が加入率が70.0%となっている。



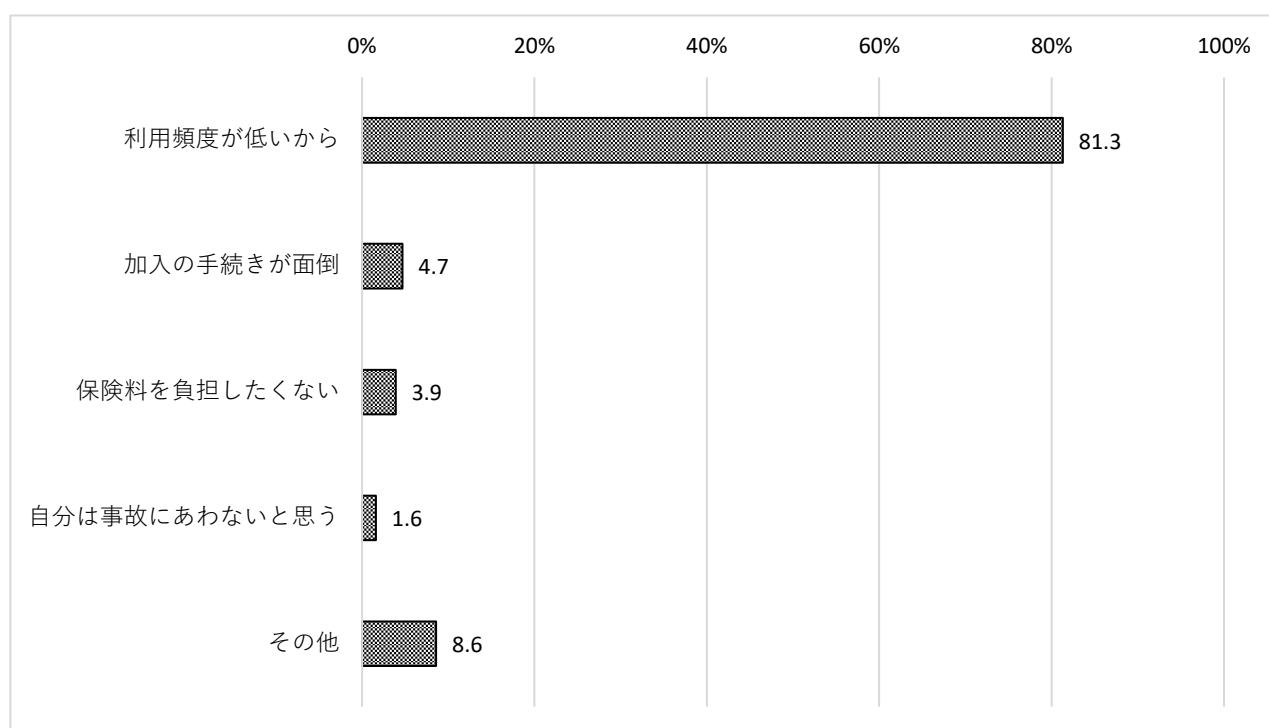
※( )内数値は、令和元年度第3回県政モニターアンケート調査数値

＜自転車の損害賠償保険等への未加入の理由＞  
 「自転車の利用頻度が低いから」が約8割

問2-2 問2で「いいえ」と答えた者の自転車損害賠償保険等への未加入の理由

	n=128	回答数 (人)	割合 (%)
自転車の利用頻度が低いから		104	81.3
加入の手続きが面倒だから		6	4.7
保険料を負担したくないから		5	3.9
自分は事故にあわないと思うから		2	1.6
その他		11	8.6

● 「自転車の利用頻度が低いから」が81.3%と最も多く、次に「加入の手続きが面倒だから」(4.7%)、「保険料を負担したくないから」(3.9%)となっている。



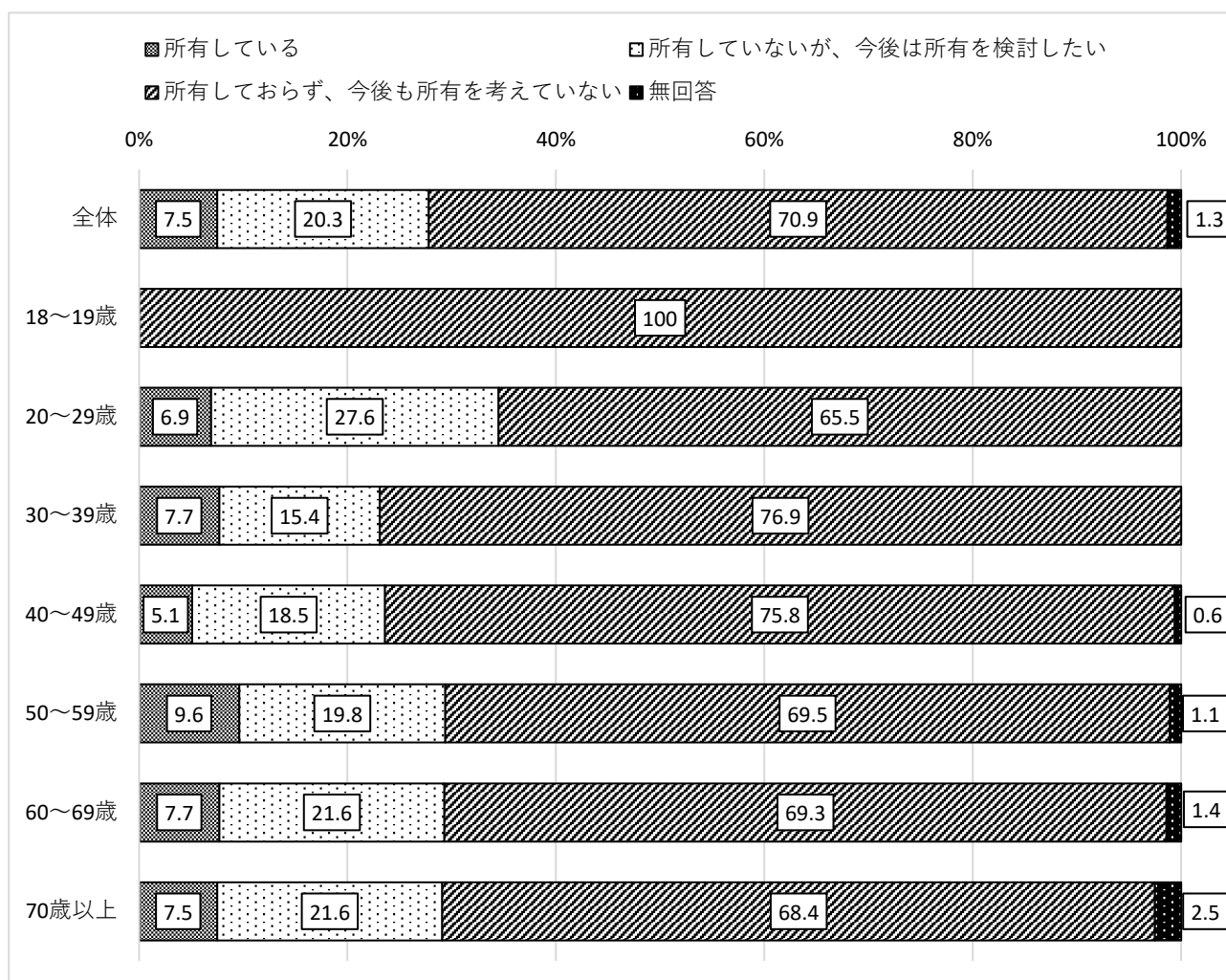
その他として、「自転車損害賠償保険等に参加しなければならないことを知らなかった」や「近日中に保険等に参加する予定」などの回答が見られた。

＜電動アシスト自転車の所有状況＞  
 「所有しておらず、今後も所有を考えていない」が約7割

問3 近年、電動アシスト自転車の利用が増えています。電動アシスト自転車についてあなたの状況に近いものを選んでください。(○は1つ)

	n=996	回答数 (人)	割合 (%)
所有しておらず、今後も所有を考えていない		706	70.9
所有していないが、今後は所有を検討したい		202	20.3
所有している		75	7.5
無回答		13	1.3

●「所有しておらず、今後も所有を考えていない」が70.9%と最も多く、次に「所有していないが、今後は所有を検討したい」(20.3%)となっている。



## 《長野県森林づくり県民税(森林税)について》

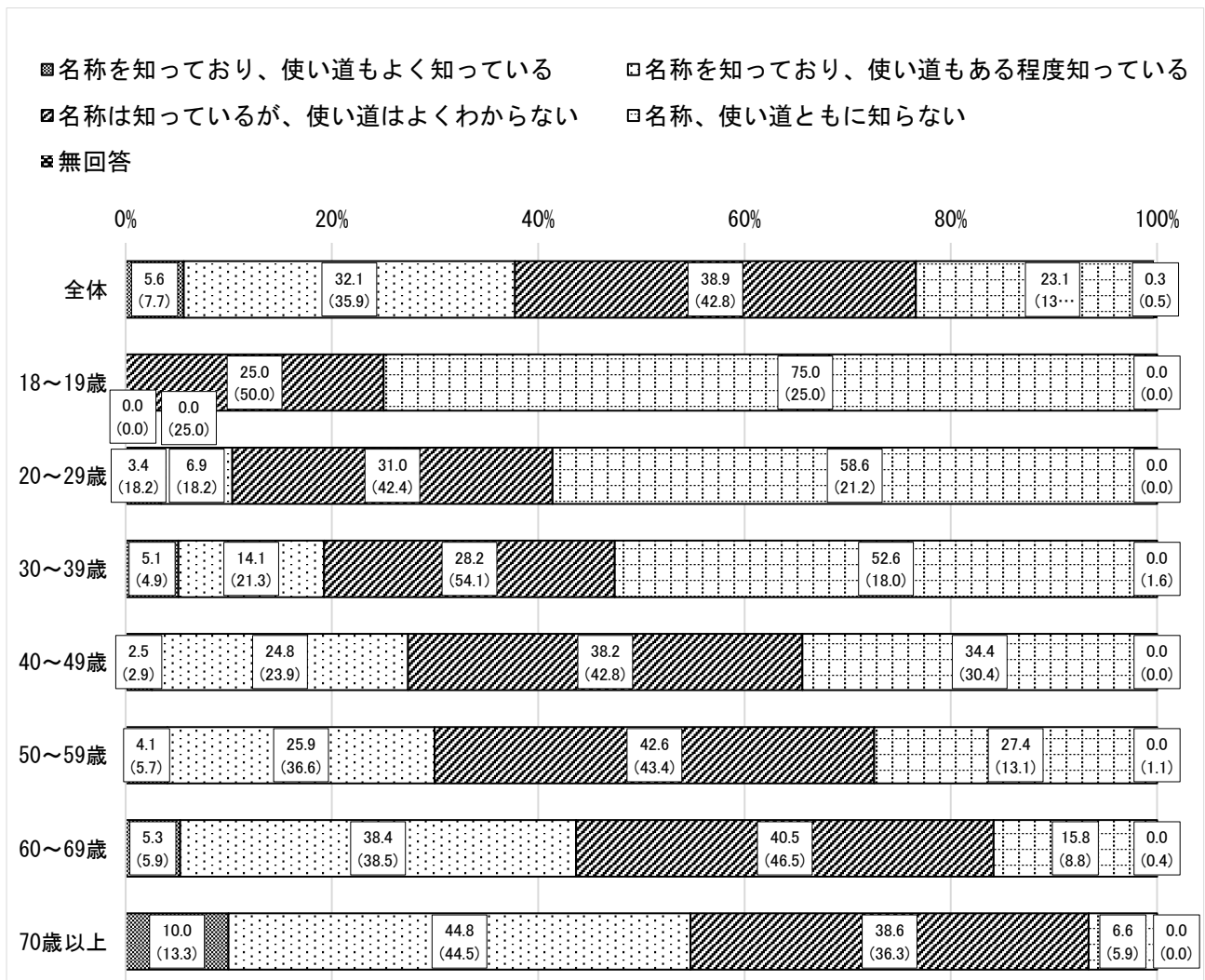
### ＜森林税と使途の認知度＞

「名称を知っており、使い道もよく知っている」と「名称を知っており、使い道もある程度知っている」を合わせて約4割、「名称は知っているが、使い道はよくわからない」を含めると8割弱

問4 あなたは、森林税の名称や使い道についてご存知ですか。当てはまるものを選んでください。  
(○は1つ)

	R2年度n=996		R1年度n=948	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
① 名称を知っており、使い道もよく知っている	56	5.6	73	7.7
② 名称を知っており、使い道もある程度知っている	320	32.1	340	35.9
③ 名称は知っているが、使い道はよくわからない	387	38.9	406	42.8
④ 名称、使い道ともに知らない	230	23.1	124	13.1
無回答	3	0.3	5	0.5

● 「名称を知っており、使い道もよく知っている」(5.6%)と「名称を知っており、使い道もある程度知っている」(32.1%)を合わせて37.7%となっている。10代を除く年代別では、70代以上(54.8%)が最も高く、20代(10.3%)が最も低い。



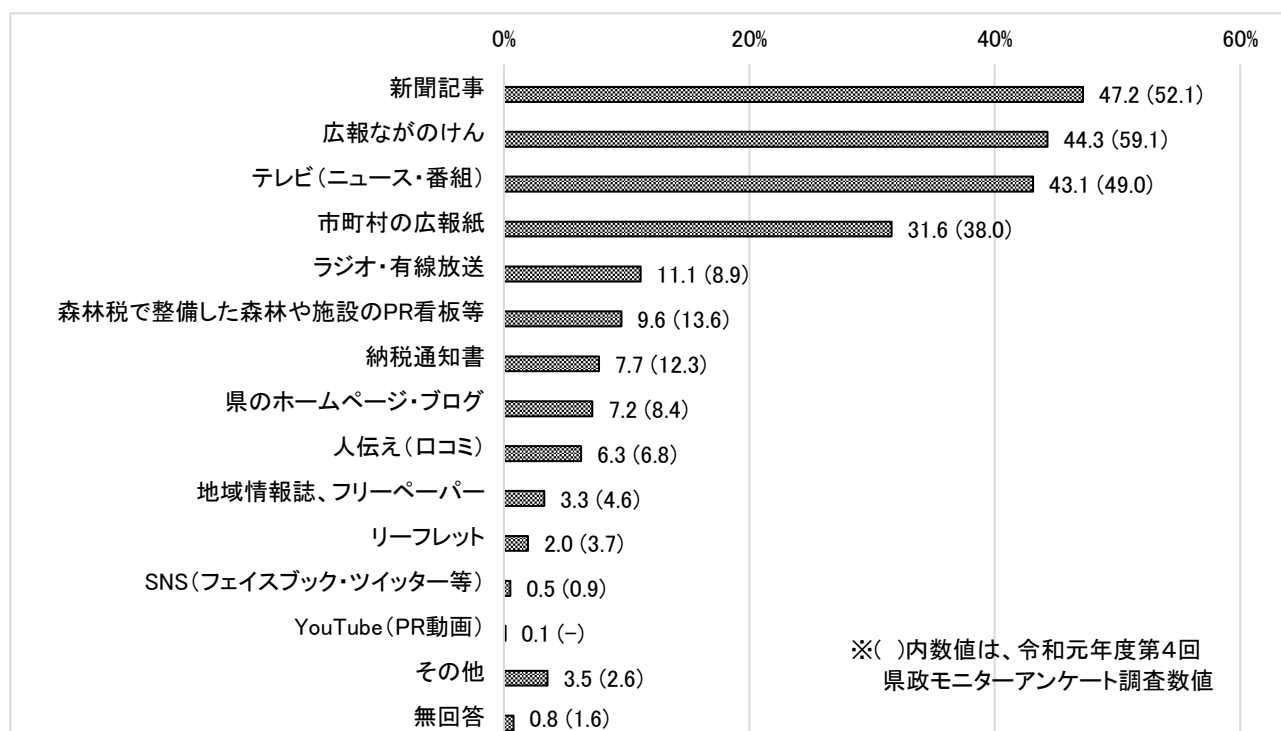
＜森林税の名称や用途を認知した媒体＞

「新聞記事」が5割弱、「広報ながのけん」、「テレビ(ニュース・番組)」がともに4割超

問5 問4で①から③を選ばれた方に伺います。あなたは、森林税の名称、使い道などを、どのようにお知りになりましたか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R2年度 n=763		R1年度 n=819	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
新聞記事	360	47.2	427	52.1
広報ながのけん	338	44.3	484	59.1
テレビ(ニュース・番組)	329	43.1	401	49.0
市町村の広報紙	241	31.6	311	38.0
ラジオ・有線放送	85	11.1	73	8.9
森林税で整備した森林や施設のPR看板等	73	9.6	111	13.6
納税通知書	59	7.7	101	12.3
県のホームページ・ブログ	55	7.2	69	8.4
人伝え(口コミ)	48	6.3	56	6.8
地域情報誌、フリーペーパー	25	3.3	38	4.6
リーフレット	15	2.0	30	3.7
SNS(フェイスブック・ツイッター等)	4	0.5	7	0.9
YouTube(PR動画)	1	0.1	-	-
その他	27	3.5	21	2.6
無回答	6	0.8	13	1.6

●「新聞記事」が47.2%と最も多く、次に「広報ながのけん」(44.3%)、「テレビ(ニュース・番組)」(43.1%)となっている。



その他としては、「森林税の活用を通じて」、「地域活動を通じて」、「仕事を通じて」等の回答が見られ

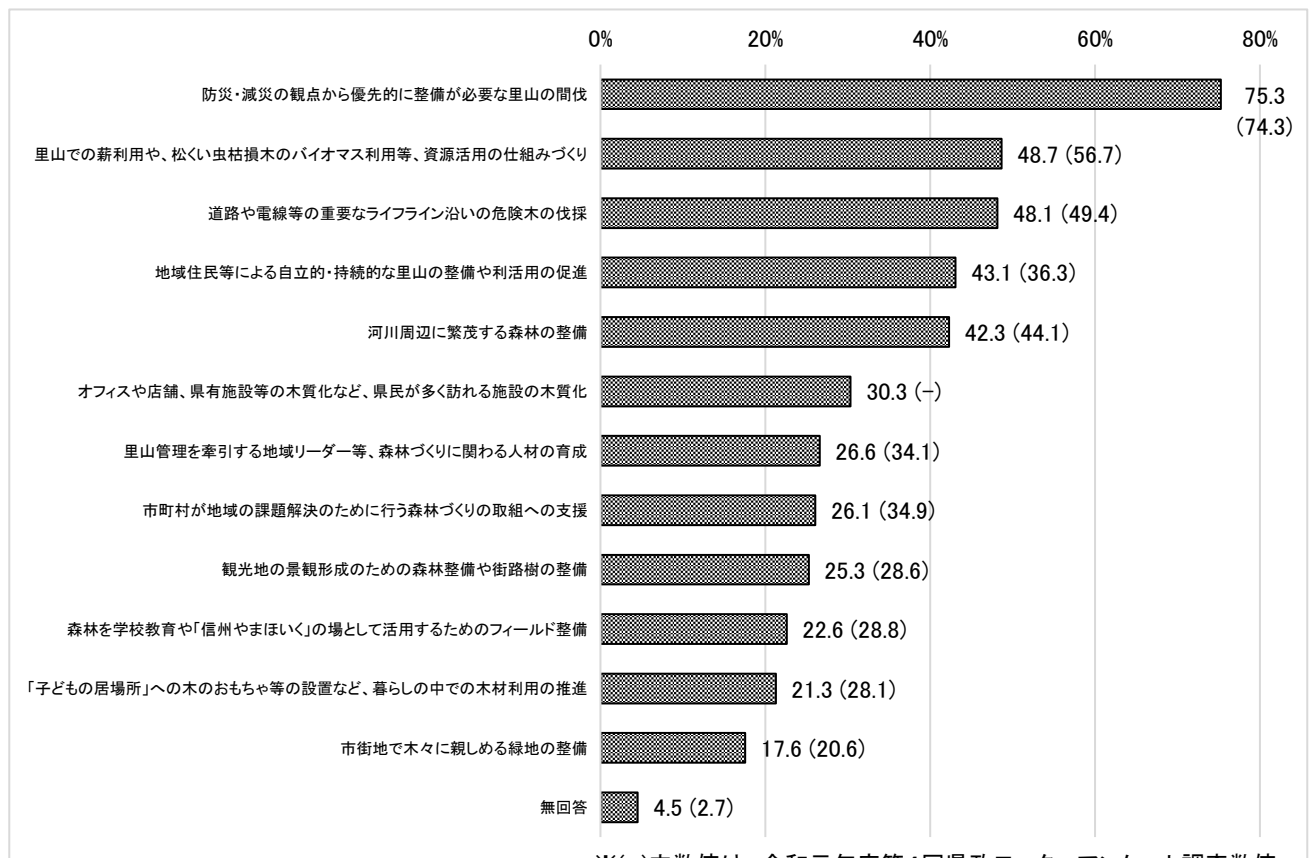
＜森林税を活用した取組のうち認知しているもの＞

「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が7割超、「里山での薪利用や、松くい虫枯損木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」が約5割

問6 問4で①または②を選ばれた方に伺います。森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが見たり聞いたりしたことがあるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R2年度 n=376		R1年度 n=413	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐	283	75.3	307	74.3
里山での薪利用や、松くい虫枯損木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり	183	48.7	234	56.7
道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採	181	48.1	204	49.4
地域住民等による自立的・持続的な里山の整備や利活用の促進	162	43.1	150	36.3
河川周辺に繁茂する森林の整備	159	42.3	182	44.1
オフィスや店舗、県有施設等の木質化など、県民が多く訪れる施設の木質化	114	30.3	-	-
里山管理を牽引する地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材の育成	100	26.6	141	34.1
市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援	98	26.1	144	34.9
観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備	95	25.3	118	28.6
森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備	85	22.6	119	28.8
「子どもの居場所」への木のおもちゃ等の設置など、暮らしの中での木材利用の推進	80	21.3	116	28.1
市街地で木々に親しめる緑地の整備	66	17.6	85	20.6
無回答	17	4.5	11	2.7

●「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が75.3%と最も多く、次に「里山での薪利用や、松くい虫枯損木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」(48.7%)となっている。





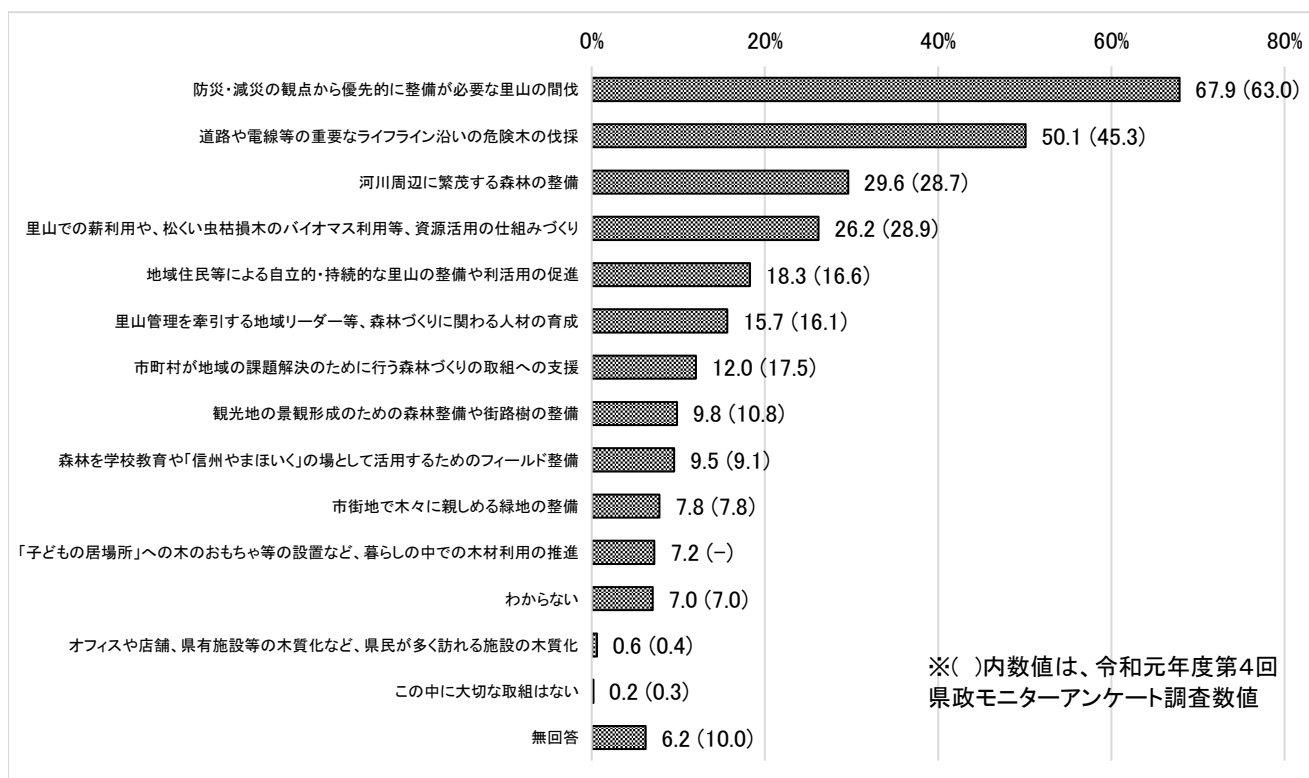
＜森林税を活用した取組のうち大切だと思うもの＞

「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が約7割、「道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採」が約5割

問7 森林税を活用した取組について伺います。森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが特に大切だと思う取組を選んでください。(○は3つまで)

	R2年度 n=996		R1年度 n=948	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐	676	67.9	597	63.0
道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採	499	50.1	429	45.3
河川周辺に繁茂する森林の整備	295	29.6	272	28.7
里山での薪利用や、松くい虫枯損木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり	261	26.2	274	28.9
地域住民等による自立的・持続的な里山の整備や利活用の促進	182	18.3	157	16.6
里山管理を牽引する地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材の育成	156	15.7	153	16.1
市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援	120	12.0	166	17.5
観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備	98	9.8	102	10.8
森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備	95	9.5	86	9.1
市街地で木々に親しめる緑地の整備	78	7.8	74	7.8
オフィスや店舗、県有施設等の木質化など、県民が多く訪れる施設の木質化	72	7.2	-	-
「子どもの居場所」への木のおもちゃ等の設置など、暮らしの中での木材利用の推進	70	7.0	66	7.0
わからない	6	0.6	4	0.4
この中に大切な取組はない	2	0.2	3	0.3
無回答	62	6.2	95	10.0

●「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が67.9%と最も多く、次に「道路や電線等の重要なライフライン沿いの危険木の伐採」(50.1%)となっている。



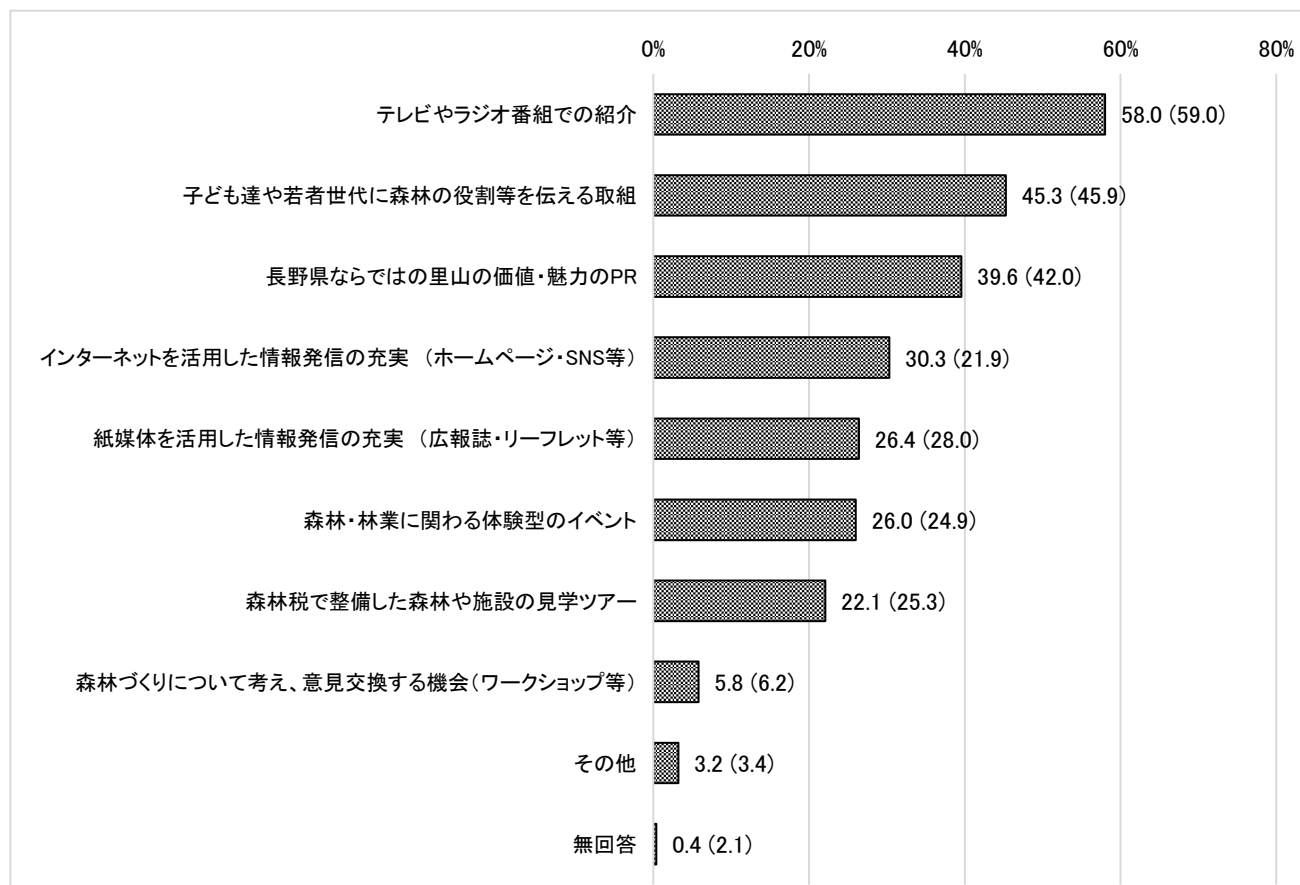
＜森林税を身近に感じてもらうために有効な取組＞

「テレビやラジオ番組での紹介」が約6割、「子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組」が4割超

問8 森林税やその使い道が、県民の皆様にとってより身近に感じられるものとなるためにはどのような取組が大事だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(〇は3つまで)

	R2年度 n=996		R1年度 n=948	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビやラジオ番組での紹介	578	58.0	559	59.0
子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組	451	45.3	435	45.9
長野県ならではの里山の価値・魅力のPR	394	39.6	398	42.0
インターネットを活用した情報発信の充実（ホームページ・SNS等）	302	30.3	208	21.9
紙媒体を活用した情報発信の充実（広報誌・リーフレット等）	263	26.4	265	28.0
森林・林業に関わる体験型のイベント	259	26.0	236	24.9
森林税で整備した森林や施設の見学ツアー	220	22.1	240	25.3
森林づくりについて考え、意見交換する機会（ワークショップ等）	58	5.8	59	6.2
その他	32	3.2	32	3.4
無回答	4	0.4	20	2.1

●「テレビやラジオ番組での紹介」が58.0%と最も多く、次に「子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組」（45.3%）、「長野県ならではの里山の価値・魅力PR」（39.6%）となっている。



その他としては、「成果の発信」、「企業や市町村等との連携」「看板による整備箇所の明示」等の回答が見られた。

## 【文化芸術活動に関する実感について】

＜文化芸術活動に参加した人の割合＞  
過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む)を行った人は4割超

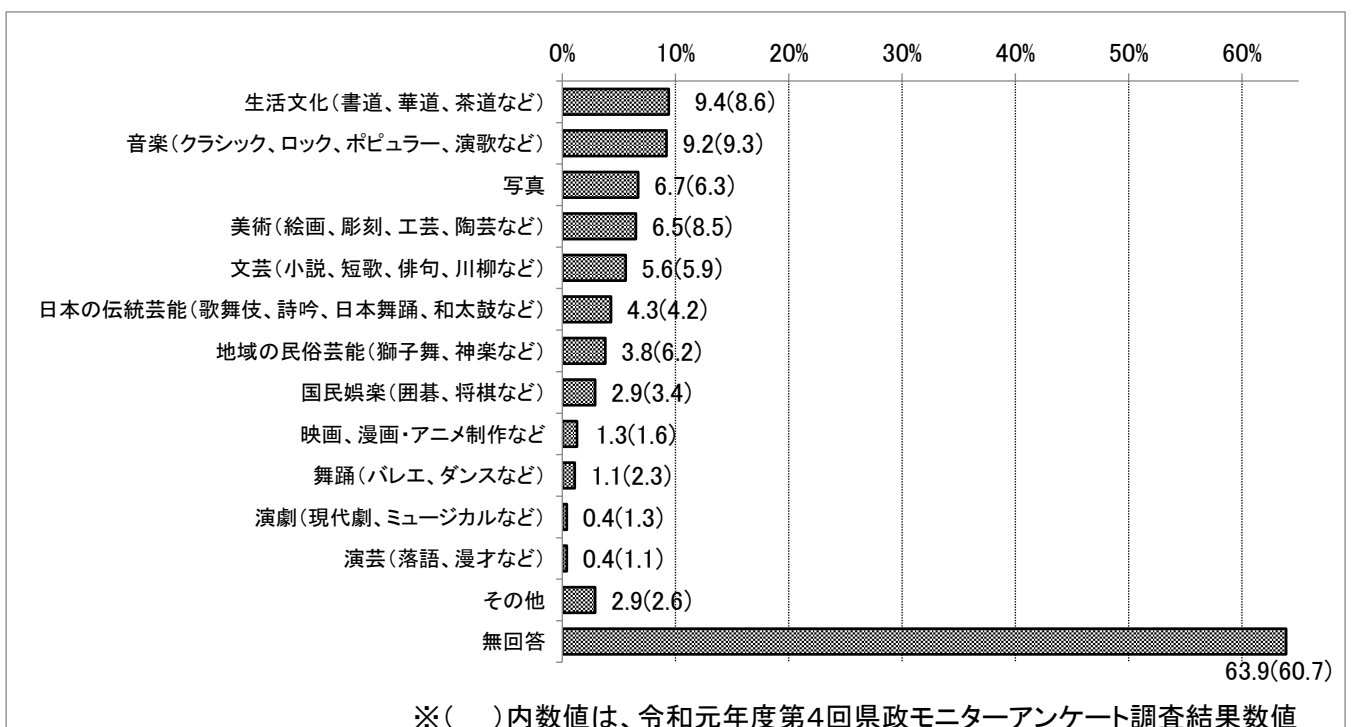
問9 あなたは過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む)を行いましたか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

	R2年度 n=995		(参考) R元年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
① はい	446	44.8	615	64.9
② いいえ	543	54.6	308	32.5
③ 無回答	6	0.6	25	2.6

問10 問9で「①はい」を選ばれた方にお伺いします。あなたは以下のどのような文化芸術活動を行いましたか。自ら創作・参加した文化芸術活動、又は文化芸術作品の鑑賞をしたものについて、当てはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも、両方でも)

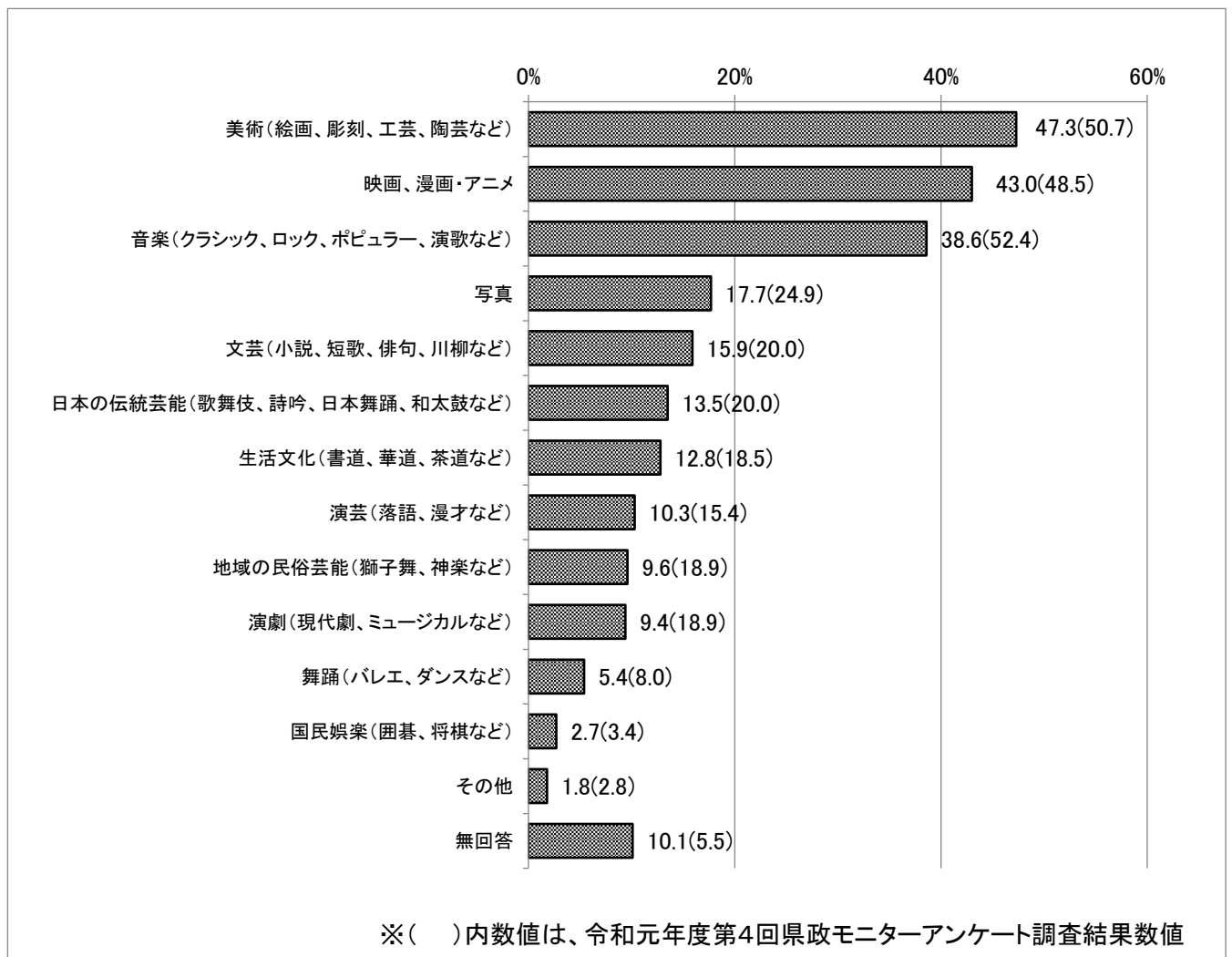
■ 自ら創作・参加する文化芸術活動を行なった	R2年度 n=446		(参考) R元年度 n=615	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
生活文化(書道、華道、茶道など)	42	9.4	53	8.6
音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)	41	9.2	57	9.3
写真	30	6.7	39	6.3
美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	29	6.5	52	8.5
文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)	25	5.6	36	5.9
日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)	19	4.3	26	4.2
地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)	17	3.8	38	6.2
国民娯楽(囲碁、将棋など)	13	2.9	21	3.4
映画、漫画・アニメ制作など	6	1.3	10	1.6
舞踊(バレエ、ダンスなど)	5	1.1	14	2.3
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	2	0.4	8	1.3
演芸(落語、漫才など)	2	0.4	7	1.1
その他	13	2.9	16	2.6
無回答	285	63.9	373	60.7

●自ら創作・参加した文化芸術活動は「生活文化」(9.4%)と「音楽」(9.2%)が高く、次に「写真」(6.7%)、「美術」(6.5%)となっている。



■ 文化芸術作品の鑑賞活動を行った	R2年度 n=446		(参考) R元年度 n=615	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	211	47.3	312	50.7
映画、漫画・アニメ	192	43.0	298	48.5
音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)	172	38.6	322	52.4
写真	79	17.7	153	24.9
文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)	71	15.9	123	20.0
日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)	60	13.5	123	20.0
生活文化(書道、華道、茶道など)	57	12.8	114	18.5
演芸(落語、漫才など)	46	10.3	95	15.4
地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)	43	9.6	116	18.9
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	42	9.4	116	18.9
舞踊(バレエ、ダンスなど)	24	5.4	49	8.0
国民娯楽(囲碁、将棋など)	12	2.7	21	3.4
その他	8	1.8	17	2.8
無回答	45	10.1	34	5.5

●鑑賞活動は「美術」が47.3%と最も高く、次に「映画、漫画・アニメ」(43.0%)、「音楽」(38.6%)となっている。

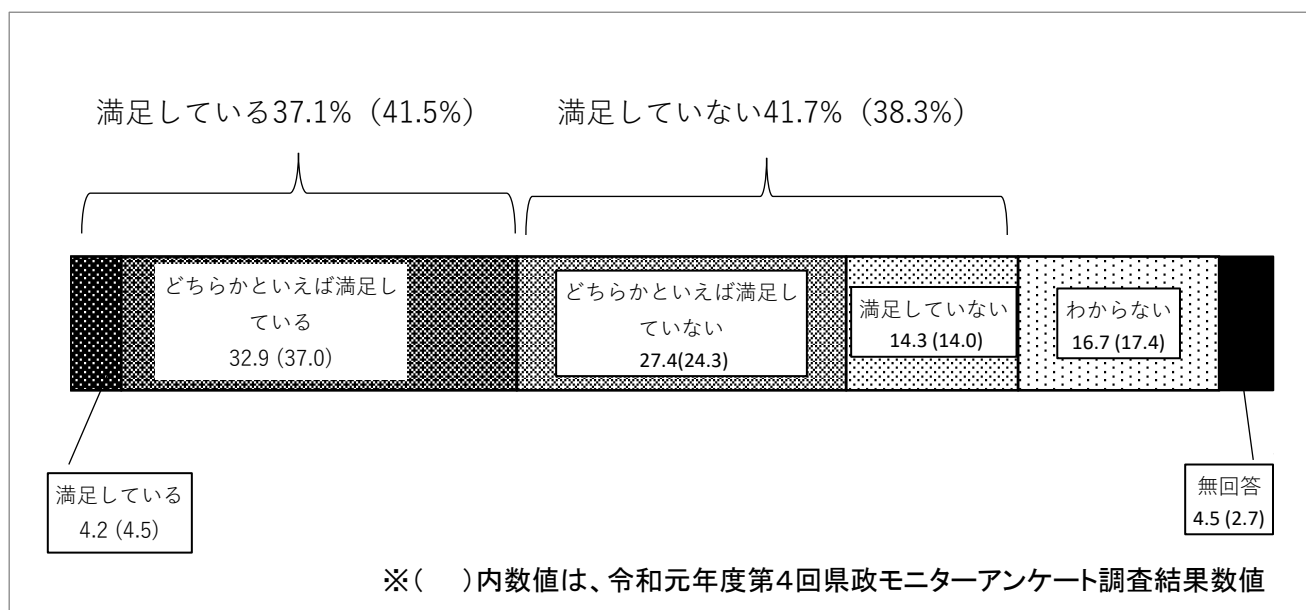


<住んでいる地域の文化的環境の満足度>  
 「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせて4割弱

あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財  
 問11 や伝統的まちなみの保存・整備などに満足していますか。当てはまるものを選んでください。(○は  
 1つ)

	R2年度 n=995		(参考) R元年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
満足している	42	4.2	43	4.5
どちらかといえば満足している	327	32.9	351	37.0
どちらかといえば満足していない	273	27.4	230	24.3
満足していない	142	14.3	133	14.0
わからない	166	16.7	165	17.4
無回答	45	4.5	26	2.7

●「どちらかといえば満足している」が32.9%と最も高く、次に「どちらかといえば満足していない」(27.4%)、「満足していない」(14.3%)となっている。

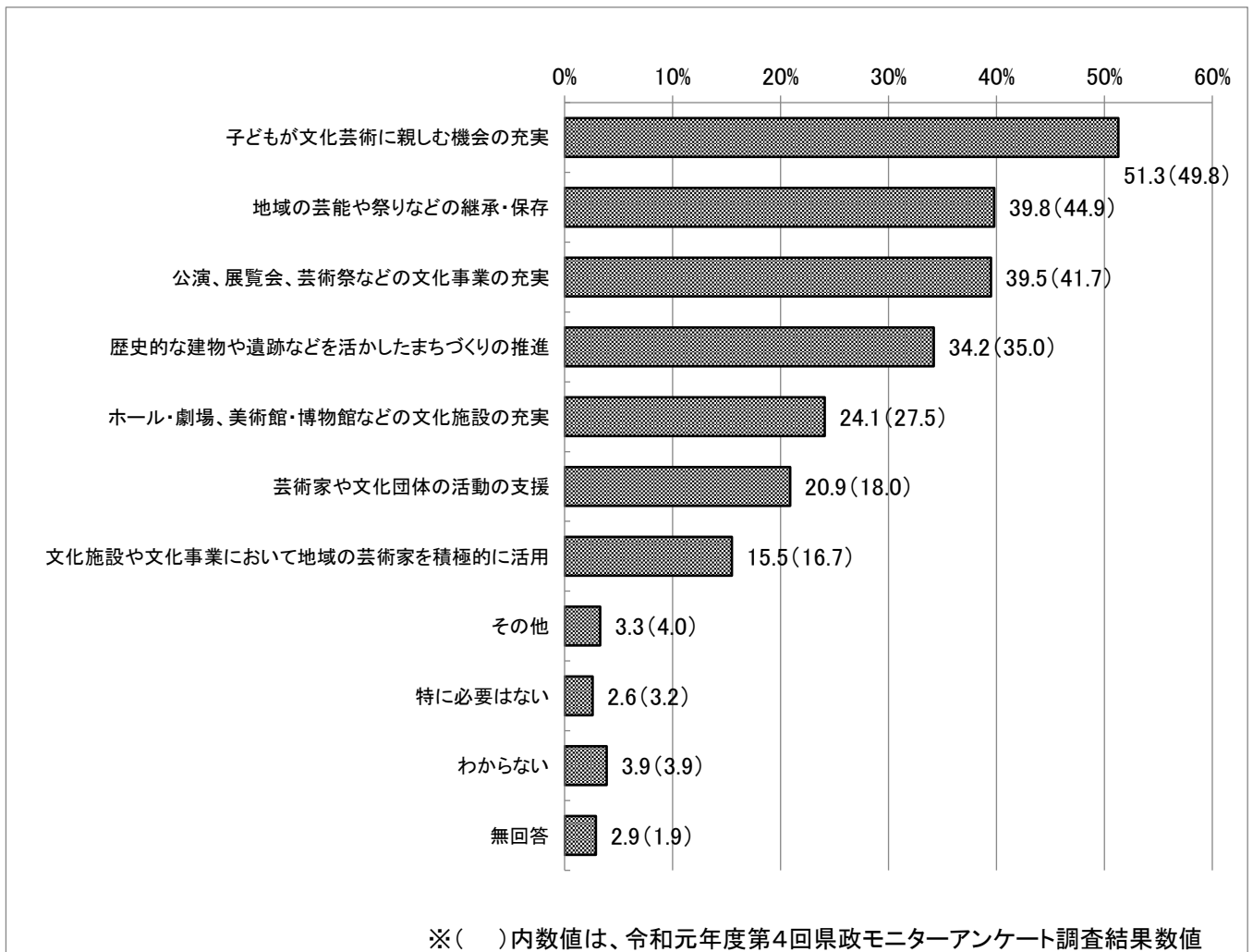


<地域の文化的環境の充実に必要な事項>  
 「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が約5割

問12 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が必要だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R2年度 n=995		(参考) R1年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	510	51.3	472	49.8
地域の芸能や祭りなどの継承・保存	396	39.8	426	44.9
公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	393	39.5	395	41.7
歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	340	34.2	332	35.0
ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	240	24.1	261	27.5
芸術家や文化団体の活動の支援	208	20.9	171	18.0
文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用	154	15.5	158	16.7
その他	33	3.3	38	4.0
特に必要はない	26	2.6	30	3.2
わからない	39	3.9	37	3.9
無回答	29	2.9	18	1.9

●「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が51.3%と最も高く、次に「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」(39.8%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(39.5%)となっている。



## 《健康づくりについて》

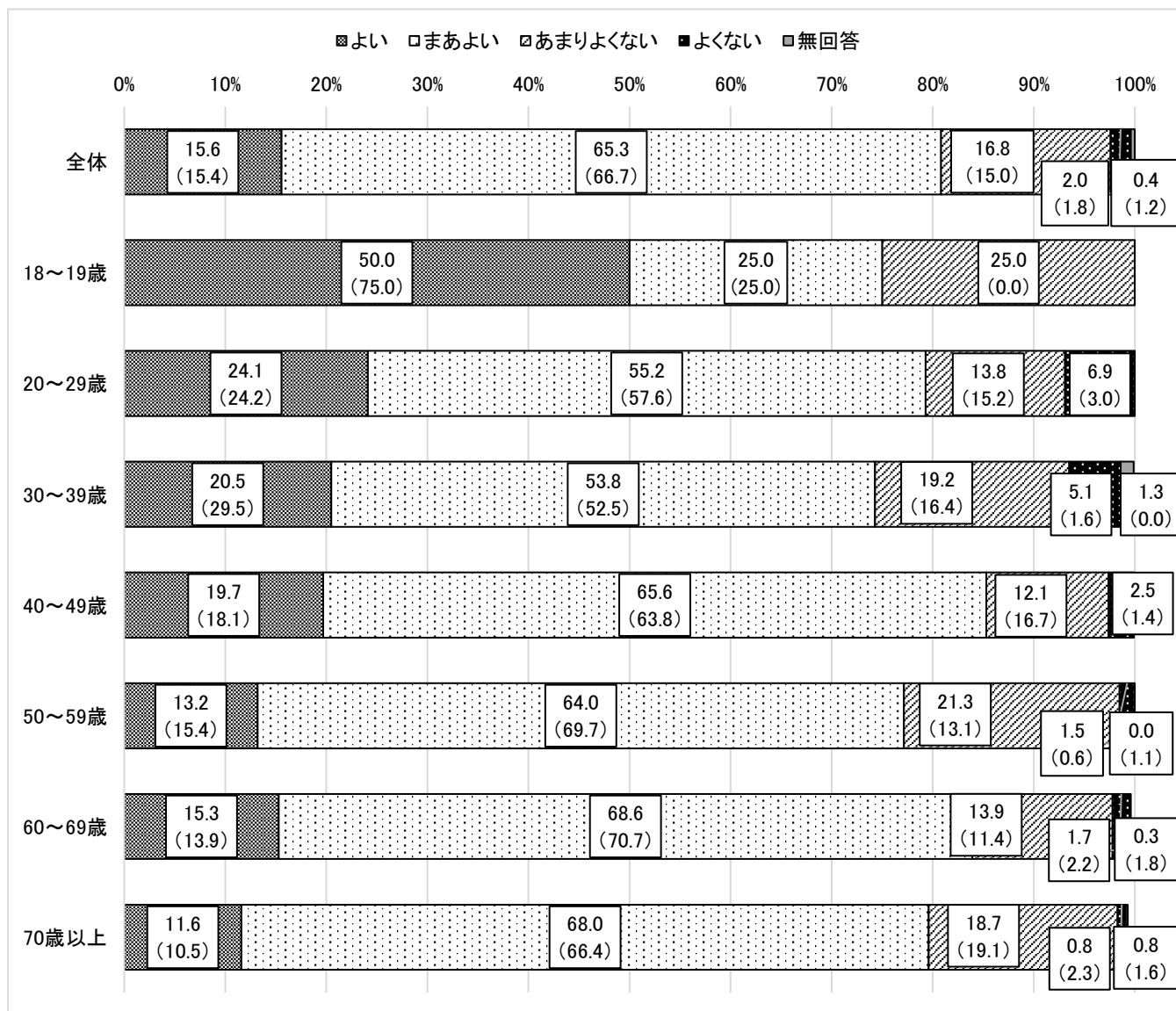
### ＜自分の健康状態＞

「よい」、「まあよい」を合わせて約8割

問13 あなたはご自分の健康状態をどのように感じていますか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

	R2年度 n=996		R1年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よい	155	15.6	146	15.4
まあよい	650	65.3	632	66.7
あまりよくない	167	16.8	142	15.0
よくない	20	2.0	17	1.8
無回答	4	0.4	11	1.2

●自分の健康状態を「よい」、「まあよい」と感じている割合は80.9%であり、前年度(82.1%)より減少している。



※( )内数値は、令和元年度第4回県政モニターアンケート調査数値

＜健康の維持・増進に関する取組＞

「食生活に関すること」の「取り組んでいる」、「少し取り組んでいる」を合わせた割合が9割弱

問14 あなたは、現在(または過去1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。①から⑤のそれぞれについて、該当する番号に1つずつ○をつけてください。

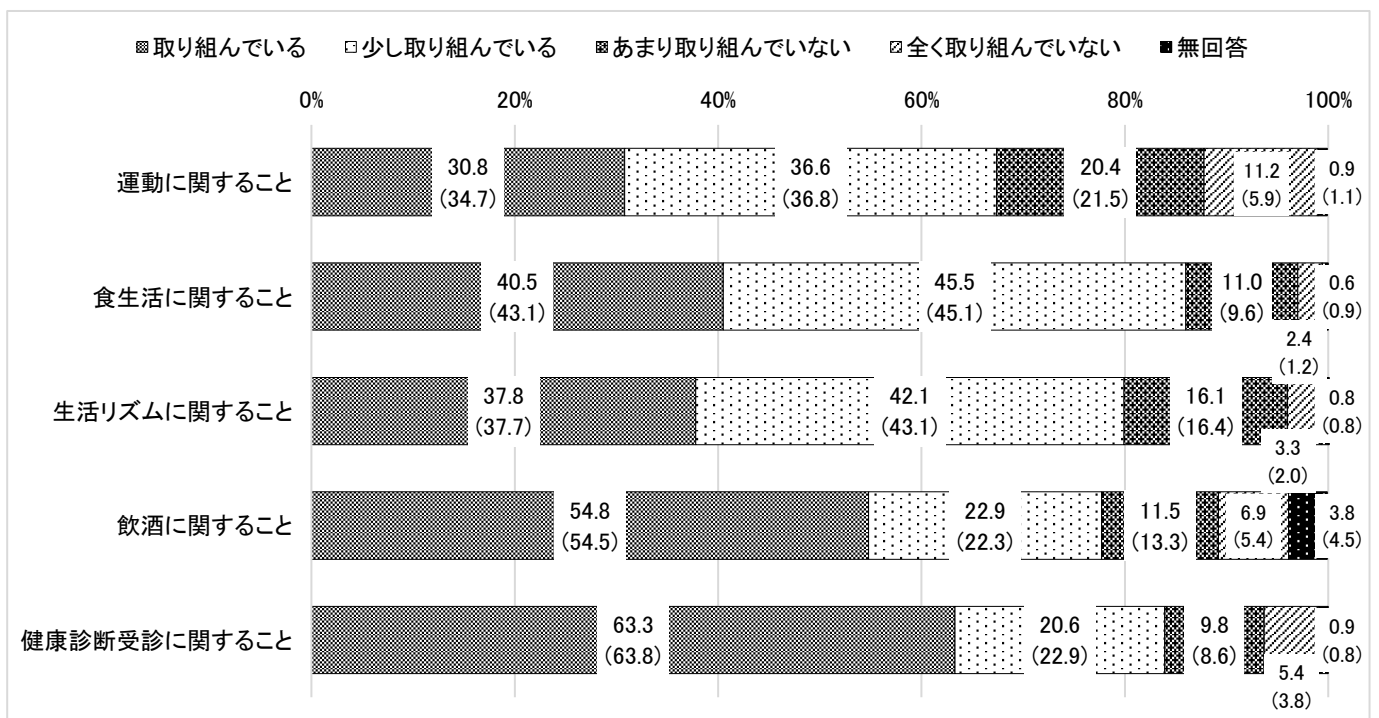
	n=996					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
① 運動に関すること	307	365	203	112	9	30.8	36.6	20.4	11.2	0.9
② 食生活に関すること	403	453	110	24	6	40.5	45.5	11.0	2.4	0.6
③ 生活リズムに関すること	376	419	160	33	8	37.8	42.1	16.1	3.3	0.8
④ 飲酒に関すること	546	228	115	69	38	54.8	22.9	11.5	6.9	3.8
⑤ 健康診断受診に関すること	630	205	98	54	9	63.3	20.6	9.8	5.4	0.9
その他	31					3.1				

(参考)R1年度

	n=948					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
① 運動に関すること	329	349	204	56	10	34.7	36.8	21.5	5.9	1.1
② 食生活に関すること	409	428	91	11	9	43.1	45.1	9.6	1.2	0.9
③ 生活リズムに関すること	357	409	155	19	8	37.7	43.1	16.4	2.0	0.8
④ 飲酒に関すること	517	211	126	51	43	54.5	22.3	13.3	5.4	4.5
⑤ 健康診断受診に関すること	605	217	82	36	8	63.8	22.9	8.6	3.8	0.8
その他	14					1.5				

●「食生活に関すること」「健康診断受診に関すること」の「取り組んでいる」または「少し取り組んでいる」は、それぞれ86.0%、83.8%と前年度(88.3%、86.7%)と同様に8割を超えている。また、「飲酒に関すること」に「取り組んでいる」または「少し取り組んでいる」は77.7%で前年度(76.8%)と同様8割弱となった。

●「取り組んでいること」としては、「健康診断受診に関すること」が63.3%と前年度(63.8%)同様に最も高い。



※( )内数値は、令和元年度第4回県政モニターアンケート調査数値



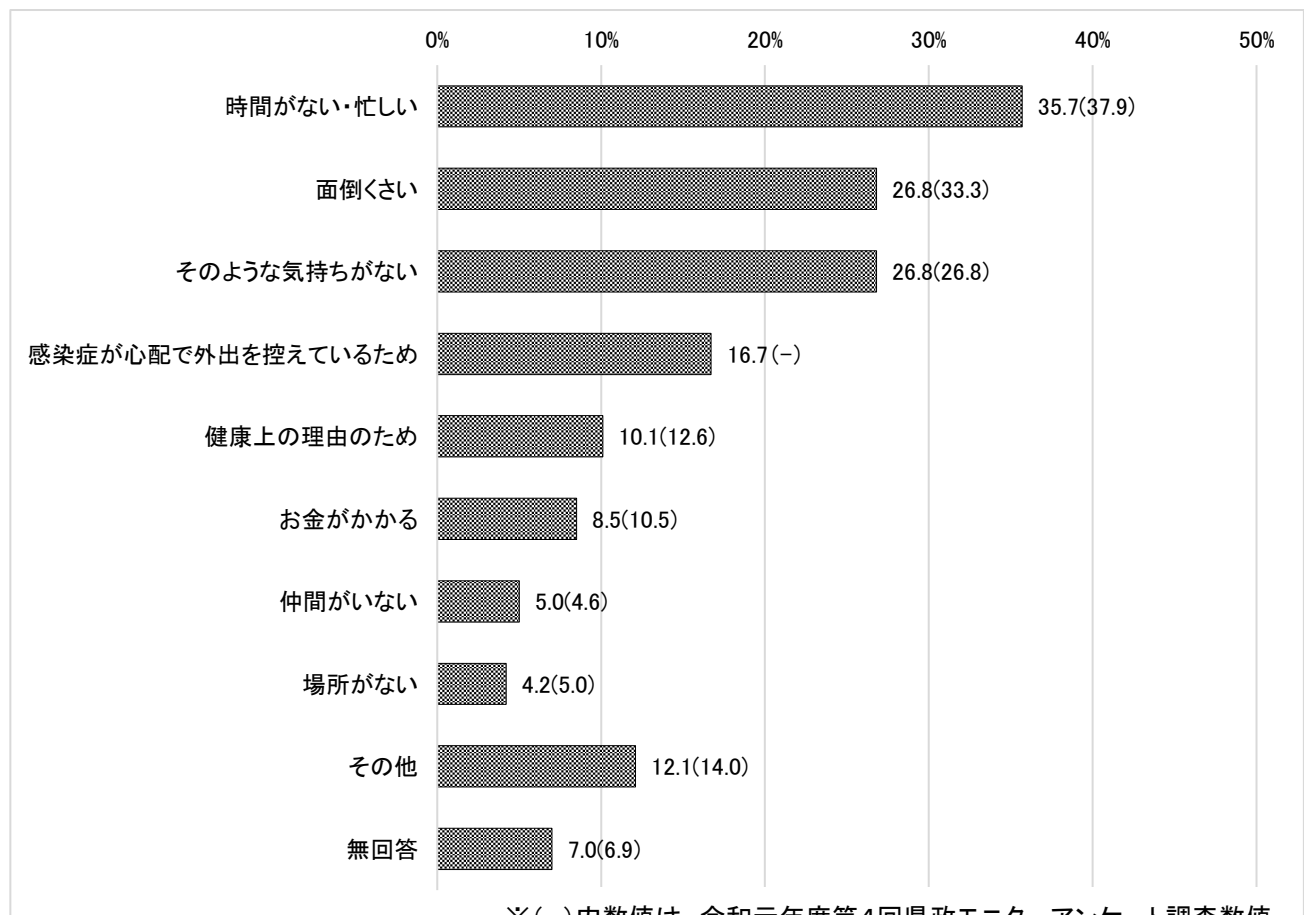
＜健康の維持・増進に関する取組を行わない理由＞

「時間がない・忙しい」が3割超、「面倒くさい」、「そのような気持ちがない」がそれぞれ3割弱

問14-2 問14の①から⑤の項目の内、1項目でも「あまり取り組んでいない」、「全く取り組んでいない」に○をした方は、その理由を選んでください。(○はいくつでも)

	R2年度 n=544		R1年度 n=478	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
時間がない・忙しい	194	35.7	181	37.9
面倒くさい	146	26.8	159	33.3
そのような気持ちがない	146	26.8	128	26.8
感染症が心配で外出を控えているため	91	16.7	-	-
健康上の理由のため	55	10.1	60	12.6
お金がかかる	46	8.5	50	10.5
仲間がいない	27	5.0	22	4.6
場所がない	23	4.2	24	5.0
その他	66	12.1	67	14.0
無回答	38	7.0	33	6.9

●「時間がない・忙しい」が35.7%と最も高く、次に「面倒くさい」(26.8%)、「そのような気持ちがない」(26.8%)となっている。



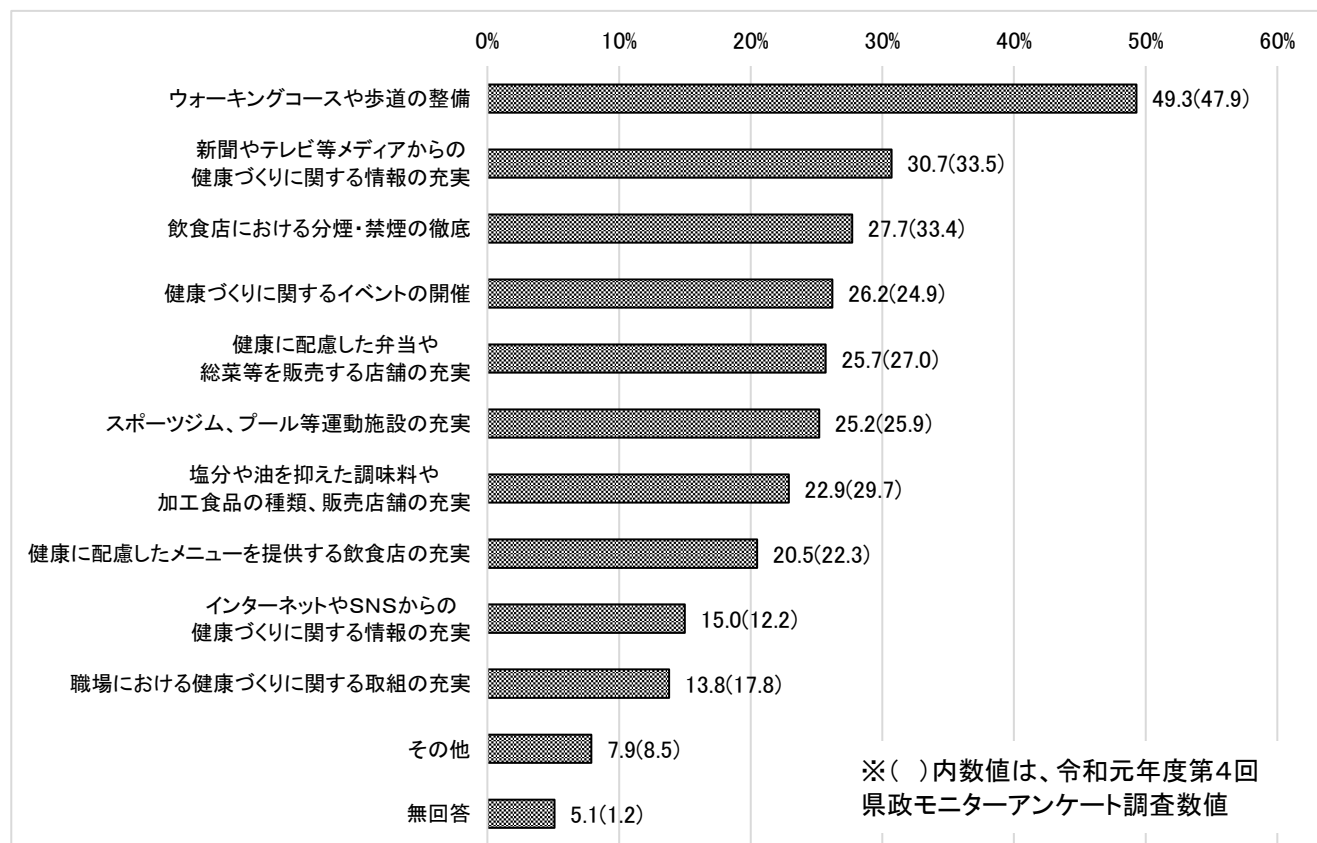
その他としては、「食生活に関する知識がない」「現在元気なので」等の回答が見られた。

＜健康づくりを進める上で必要な環境づくり＞  
 「ウォーキングコースや歩道の整備」が約5割、「新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実」が約3割

問15 あなたは、ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R2年度 n=996		R1年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ウォーキングコースや歩道の整備	491	49.3	454	47.9
新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実	306	30.7	318	33.5
飲食店における分煙・禁煙の徹底	276	27.7	317	33.4
健康づくりに関するイベントの開催	261	26.2	236	24.9
健康に配慮した弁当や総菜等を販売する店舗の充実	256	25.7	256	27.0
スポーツジム、プール等運動施設の充実	251	25.2	246	25.9
塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実	228	22.9	282	29.7
健康に配慮したメニューを提供する飲食店の充実	204	20.5	211	22.3
インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報の充実	149	15.0	116	12.2
職場における健康づくりに関する取組の充実	137	13.8	169	17.8
その他	79	7.9	81	8.5
無回答	51	5.1	11	1.2

●「ウォーキングコースや歩道の整備」が、49.3%と最も高く、次に「新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実」(30.7%)、「飲食店における分煙・禁煙の徹底」(27.7%)となっている。



その他としては、「アプリで健康的な活動を記録できるもの」、「日中仕事の人が夜参加できるイベントの催し」、「一緒に行える仲間を作る。地域での健康ネットワーク」等の回答が見られた。

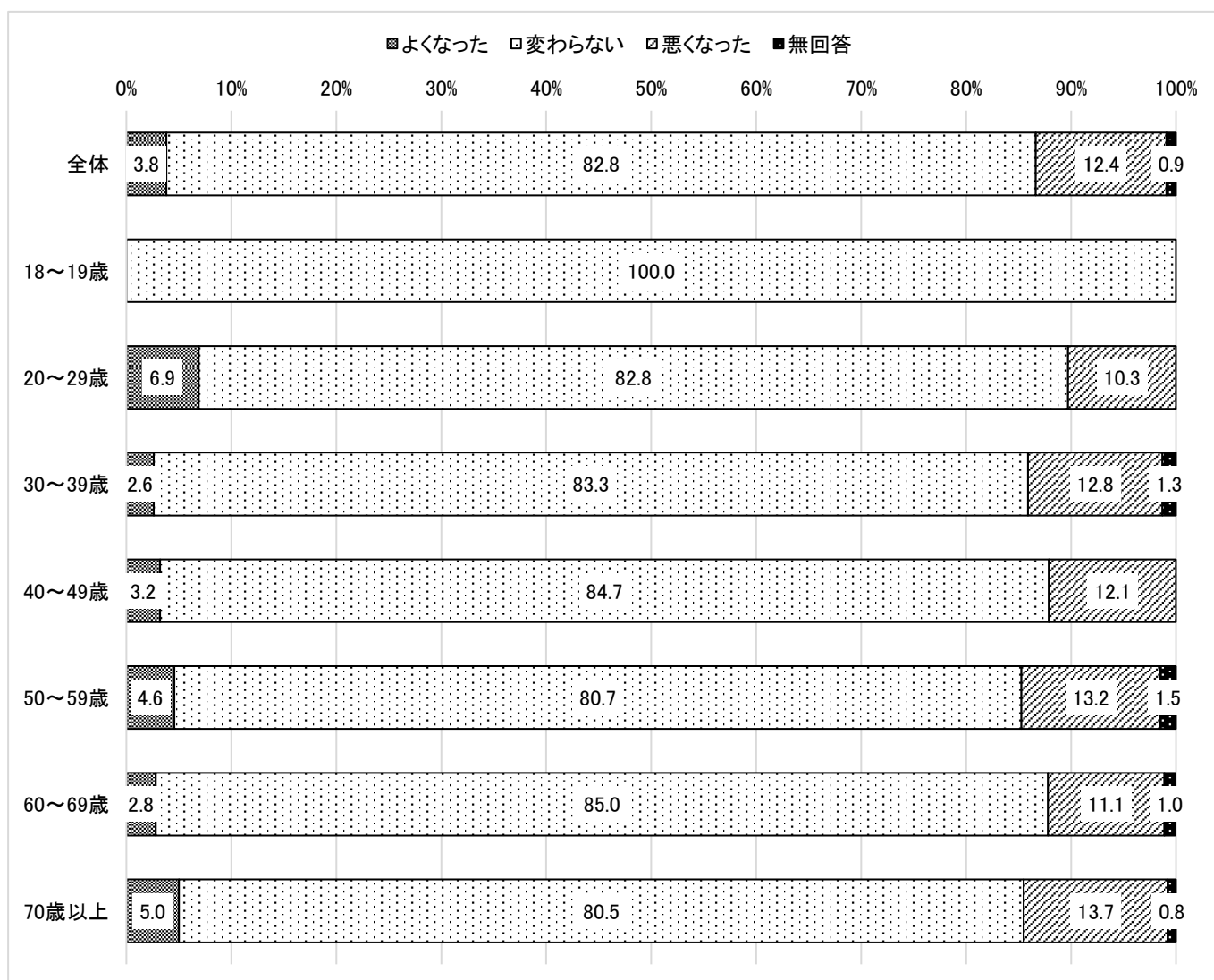
＜コロナ禍での体調変化＞

「変わらない」が8割超、「悪くなった」が約1割

問16 あなたは、コロナ禍以前と比べ体調の変化をどのように感じていますか。当てはまるものを選んでください。(〇は1つ)

	n=996	回答数 (人)	割合 (%)
よくなった		38	3.8
変わらない		825	82.8
悪くなった		124	12.4
無回答		9	0.9

●「変わらない」が82.8%と最も多く、「悪くなった」が12.4%となった。



「悪くなった」を選択した方の理由としては、「家で過ごすことが多くなり、つい食べすぎによる体重増加」、「運動、外出、習い事等外出の機会が減り、体を動かすことが少なく、体重が増え筋肉が減った。」、「運動施設に行く事が無くなった。(回数が減った。)」等の回答が見られた。

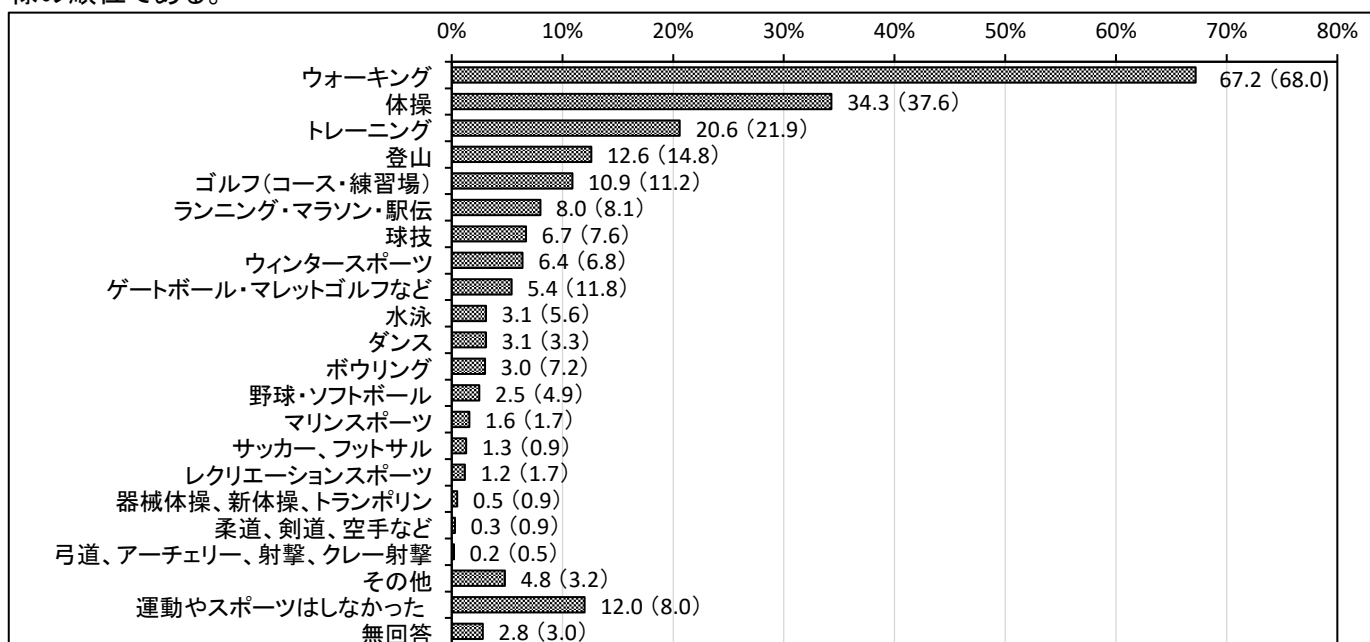
## 《運動・スポーツに関する実感について》

＜この1年間に行った運動・スポーツの種類＞  
「ウォーキング」が7割弱、「体操」が3割超

問17 この中にあなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば、当てはまるものを選んでください。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。(〇は5つまで)

	R2年度 n=996		(参考) R1年度 n=948	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	669	67.2	645	68.0
体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど)	342	34.3	356	37.6
トレーニング(筋肉トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)	205	20.6	208	21.9
登山(クライミングを含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル	125	12.6	140	14.8
ゴルフ(コース・練習場)	109	10.9	106	11.2
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	80	8.0	77	8.1
球技(バレーボール、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、ドッジボールなど)	67	6.7	72	7.6
ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)	64	6.4	64	6.8
ゲートボール・グランドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナックゴルフなど	54	5.4	112	11.8
水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)	31	3.1	53	5.6
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)	31	3.1	31	3.3
ボウリング	30	3.0	70	7.4
野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む)	25	2.5	46	4.9
マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)	16	1.6	16	1.7
サッカー、フットサル	13	1.3	9	0.9
レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラなど)	12	1.2	16	1.7
器械体操、新体操、トランポリン	5	0.5	9	0.9
柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング	3	0.3	9	0.9
弓道、アーチェリー、射撃、クレー射撃	2	0.2	5	0.5
その他	48	4.8	30	3.2
運動やスポーツはしなかった	120	12.0	76	8.0
無回答	28	2.8	28	3.0

●「ウォーキング」が67.2%と最も高く、次いで「体操」(34.3%)、「トレーニング」(20.6%)となっており、昨年と同様の順位である。



※( )内数値は、令和元年度第4回県政モニターアンケート調査数値

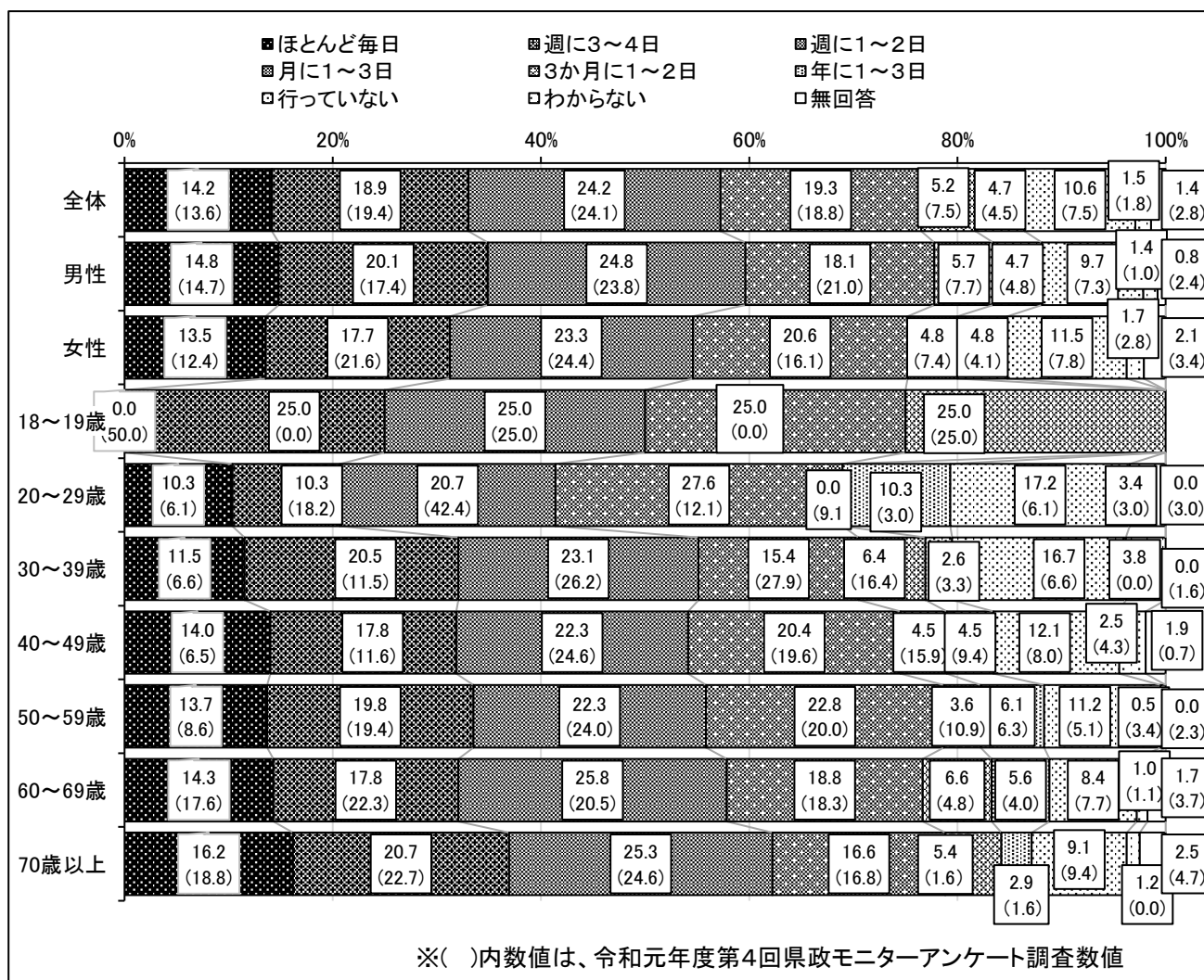
その他としては「サイクリング」、「ヨガ」等の回答が見られた。

＜この1年間に運動・スポーツを行った日数＞  
週1日以上行っている人が6割弱

問18 問17であげた種目を含め、あなたはこの1年間に運動・スポーツを何日程度行いましたか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

	R2年度 n=996		(参考) R1年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
① ほとんど毎日	141	14.2	129	13.6
② 週に3～4日	188	18.9	184	19.4
③ 週に1～2日	241	24.2	228	24.1
④ 月に1～3日	192	19.3	178	18.8
⑤ 3か月に1～2日	52	5.2	71	7.5
⑥ 年に1～3日	47	4.7	43	4.5
⑦ 行っていない	106	10.6	71	7.5
⑧ わからない	15	1.5	17	1.8
無回答	14	1.4	27	2.8

●「ほとんど毎日」(14.2%)、「週に3～4日」(18.9%)、「週に1～2日」(24.2%)を合わせて57.3%となっている。週1以上の年齢別では、70代以上が62.2%と最も高く、20代が41.4%と最も低くなっている。

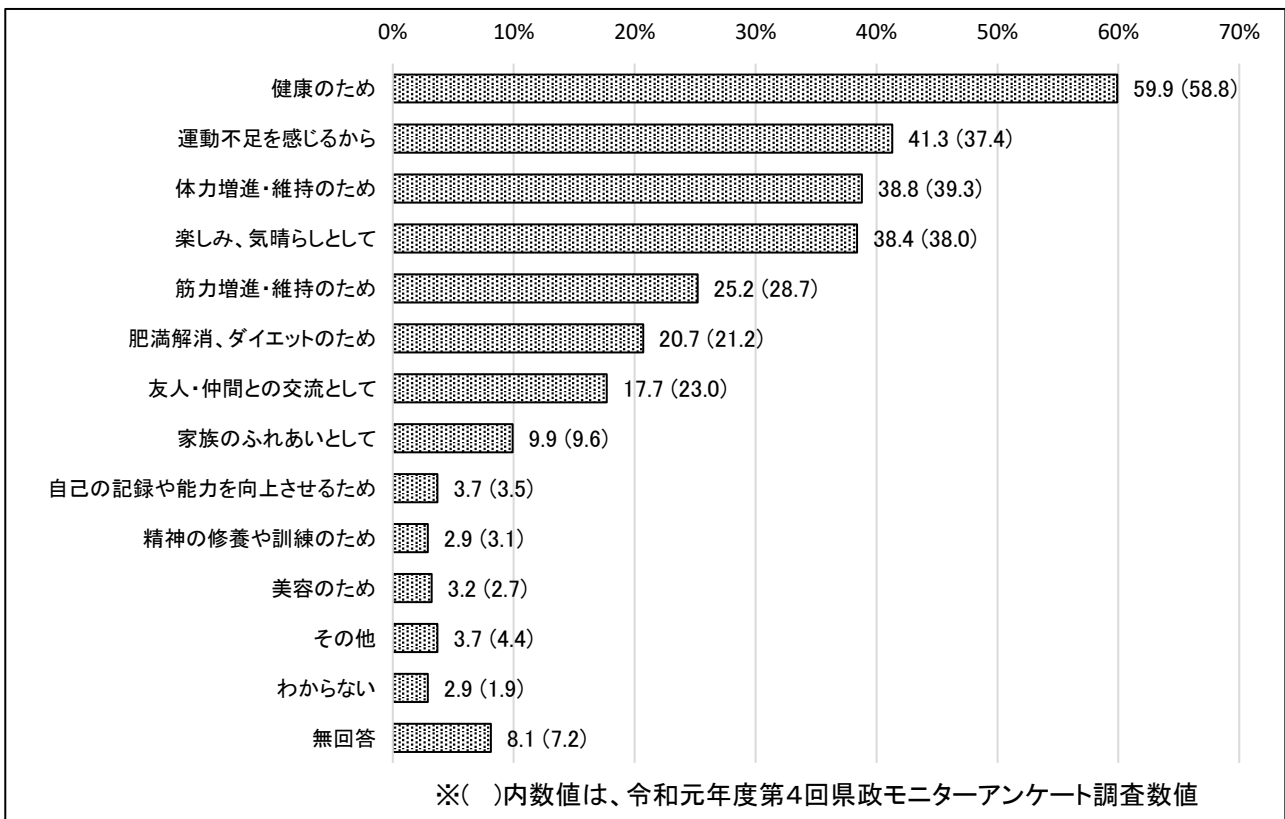


＜この1年間に運動・スポーツを行った理由＞  
「健康のため」が約6割、「運動不足を感じるから」が約4割

問19 この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。当てはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

	R2年度 n=996		(参考) R1年度 n=948	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
健康のため	597	59.9	557	58.8
運動不足を感じるから	411	41.3	355	37.4
体力増進・維持のため	386	38.8	373	39.3
楽しみ、気晴らしとして	382	38.4	360	38.0
筋力増進・維持のため	251	25.2	272	28.7
肥満解消、ダイエットのため	206	20.7	201	21.2
友人・仲間との交流として	176	17.7	218	23.0
家族のふれあいとして	99	9.9	91	9.6
自己の記録や能力を向上させるため	37	3.7	33	3.5
精神の修養や訓練のため	29	2.9	29	3.1
美容のため	32	3.2	26	2.7
その他	37	3.7	42	4.4
わからない	29	2.9	18	1.9
無回答	81	8.1	68	7.2

●「健康のため」が59.9%と最も高く、次いで「運動不足を感じるから」（41.3%）、「体力増進・維持のため」（38.8%）、「楽しみ、気晴らしとして」（38.4%）となっている。



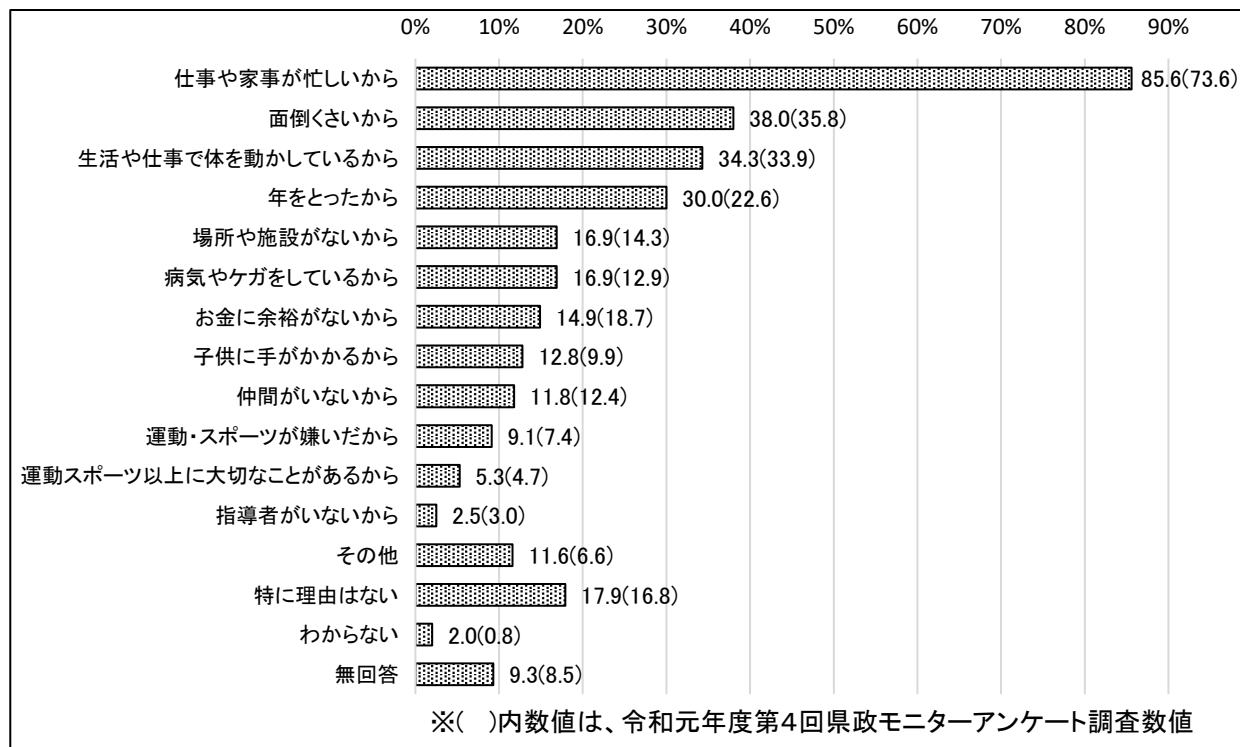
その他としては「犬の散歩」、「職場で行っている」等の回答が見られた。

＜この1年間に行った運動・スポーツを週に1日以上できなかった理由＞  
 「仕事や家事が忙しいから」が8割超、「面倒くさいから」が約4割

問20 週に1日以上(総計年51日～100日)運動・スポーツを実施できなかった理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

	R2年度 n=397		(参考) R1年度 n=363	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
仕事や家事が忙しいから	340	85.6	267	73.6
面倒くさいから	151	38.0	130	35.8
生活や仕事で体を動かしているから	136	34.3	123	33.9
年をとったから	119	30.0	82	22.6
場所や施設がないから	67	16.9	52	14.3
病気やケガをしているから	67	16.9	47	12.9
お金の余裕がないから	59	14.9	68	18.7
子供に手がかかるから	51	12.8	36	9.9
仲間がいないから	47	11.8	45	12.4
運動・スポーツが嫌いだから	36	9.1	27	7.4
運動スポーツ以上に大切なことがあるから	21	5.3	17	4.7
指導者がいないから	10	2.5	11	3.0
その他	46	11.6	24	6.6
特に理由はない	71	17.9	61	16.8
わからない	8	2.0	3	0.8
無回答	37	9.3	31	8.5

●「仕事や家事が忙しいから」が85.6%と最も高く、次いで「面倒くさいから」(38.0%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(34.3%)となっている。



その他としては「コロナの影響」が25人と多く、「介護生活のため」、「天候不順」等の回答が見られた。

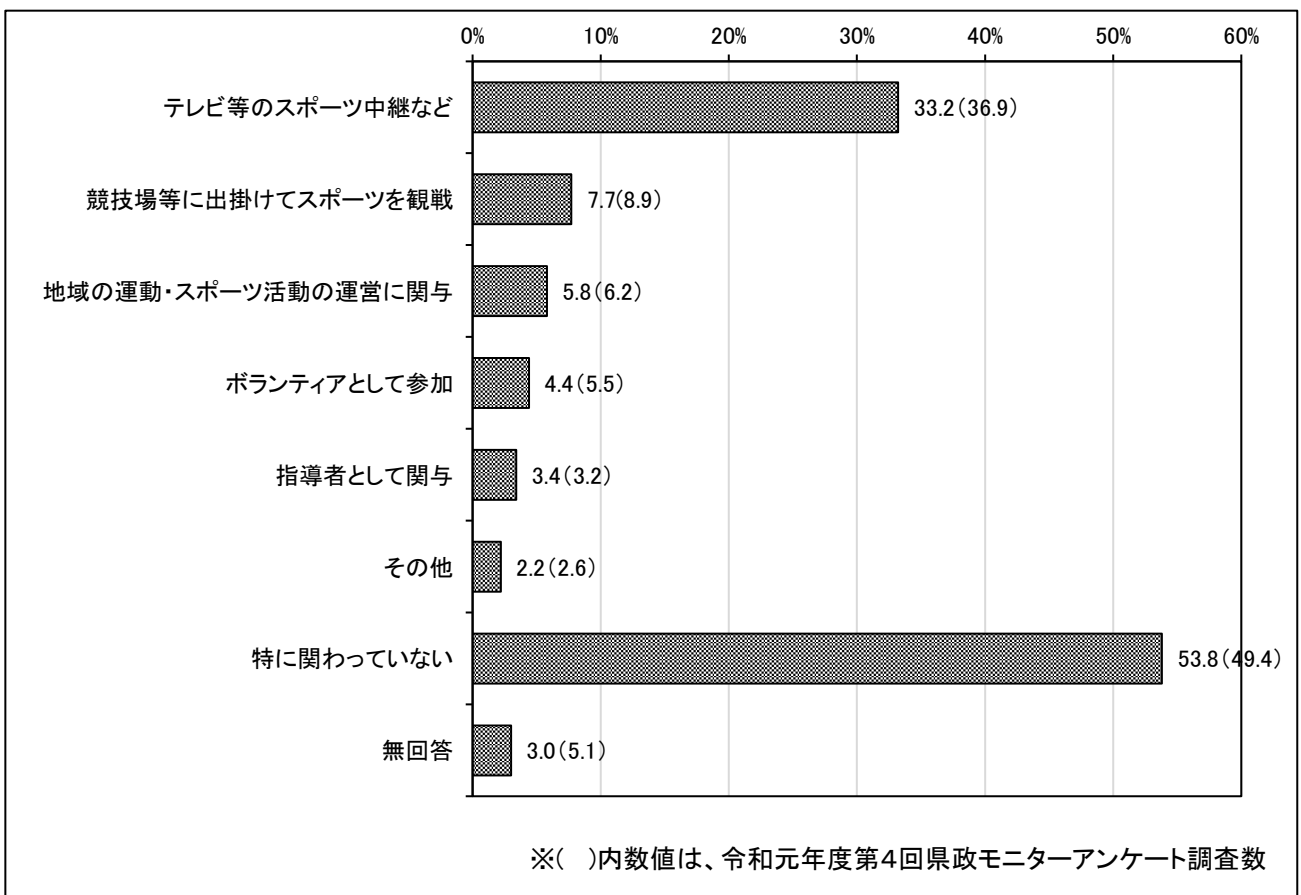
＜運動・スポーツをする以外の関わり方＞

「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」が3割超、「特に関わっていない」が5割超

問21 あなたは自ら運動・スポーツ以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R2年度 n=996		(参考) R1年度 n=948	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している	331	33.2	350	36.9
競技場等に出掛け、スポーツを観戦する	77	7.7	84	8.9
地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている	58	5.8	59	6.2
各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している	44	4.4	52	5.5
指導者として関わっている	34	3.4	30	3.2
その他	22	2.2	25	2.6
特に関わっていない	536	53.8	468	49.4
無回答	30	3.0	48	5.1

●「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」が33.2%と最も高く、次いで「競技場等に出掛け、スポーツを観戦する」(7.7%)、「地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている」(5.8%)となっている。



その他としては「公民館活動への参画」、「子供の応援、サポート」等の回答が見られた。